



もっと知りたい
ちっこの課題

常任委員会報告

提出された議案を
くわしく審査!

総務文教委員会

委員会では条例制定2件、補正予算1件、意見書案1件を審査した。全議案とも全員賛成で可決した。

改修工事が待たれる
サザンクス筑後



市民への減税の 周知分かりやすく

筑後市税条例の一部を改正する条例制定については委員から「市民にはわかりやすく知らせて欲しい」との質問に「住宅ローン減税の期間が伸びたので、ホームページ・広報紙等でしっかりと知らせる」との答弁があった。

議員のモチベーション 低下を心配

追加提案となった、筑後市職員の給与の臨時特例に関する条例制定については委員から「他団体へ派遣している職員はどうなるか」との質問に「市職員と同様の扱いだ。市立病院へは検討するよう要請している」と答弁があった。また「職員のモチベーションの低下を心配するが」との質問に「やる気を起こす要因について調査した。仕事の達成感、役立ち感などに

も大きな要因がある」と答弁があった。さらに「職員の独自の研修の奨励や制度はあるのか」との質問に「事業部枠予算で研修費を持っている」と答弁があった。

また補正予算の歳入では「筑後市文化振興公社の出資返還金を、サザンクス筑後の改修工事に当てるため基金の繰入金を取りやめるもの」と説明があった。委員からは「文化振興公社が公益財団法人となり出資金を1億円から3千万円に減額したが、公益財団法人に市が出資できるのか」との質問に「今まで許認可の関係で1億円出資していたが、移行後法人の判断で処分できるようにするため、7000万円を返還することになった」と答弁があった。

厚生委員会

委員会では、条例制定3件、補正予算1件を審査し、全員賛成にて可決した。

子ども・子育て 支援施策の推進を

「筑後市子ども・子育て会議条例制定については、子ども・子育て支援に関する施策の推進や実施状況の調査、審議を行う機関として、条例により審議会その他の合議制の機関を設置することが努力義務との説明があった。委員より「提案された会議と現在ある『次世代育成支援対策協議会』とは一線を画すものか」との質問に「既存の審議会等の活用も可能

となっているが、設置目的やメンバー構成等違いがあるため、新たに設置したい」との答弁があった。また「本当に子育てに困っている人たちの声をきちんと反映できる会議にならないかならぬ」との意見もあった。

県内市初! 風しん予防接種助成

補正予算の予防接種に要する経費450万円については、流行している風しんの予防接種費用であり、1990年以前に生まれた人で、妊娠を希望する女性、またはその配偶者について助成するものと説明があった。委員より「風しんのワクチンが不足している話も聞くが、その実態と、予算の積算根拠については」との質問に「風しん単独のワクチンは不足気味である。混合ワクチンは定期予防接種であり確保されているということだっ

建設経済委員会

農事組合法人 「大地」を視察

6月議会においては、付託された議案はなく、筑後市元気な農業担い手支援施設整備事業の活用により市から補助を受け、今年1月に完成した農事組合法人「大地」の格納庫の現地視察をおこなった。総事業費は2205万円、うち市費は683万円となる。

地域農業の担い手として法人経営の安定を図り、機械格納庫、作業室、事務室、会議室を擁し、土地利用型野菜の生産から販売までの経営展開も推進することだ。

農事組合法人「大地」

は、農業の高齢化、後継者不足が進む事態に対応するため設立された。露地野菜の導入により、地域内高齢者や女性の雇用創出と法人経営の多角化を図るとともに、農地の集積を進めており、現在、利用権設定により集落内の農地66・5haの内51・6ha(約8割)を集積している。

今後の課題として、地域農業及び法人経営の持続的な発展のため、後継者の育成を進めていく必要があるが、現在、農業担い手育成事業の活用により1人を雇用し、法人の担い手として研修を実施中でもある。また、露地野菜の作付規模拡大及び新規作物の導入、6次産業化により、さらなる経営安定を目指している。

来春完成! 筑後船小屋西側駐車場

また、来年3月に設置予定の筑後船小屋西側

駐車場予定地の現地視察も行った。

駐車場を新設すること、船小屋駅の駐車場不足の解消を図る。現在、都市計画決定の手續中であり、今秋、駐車場の整備に着手する。駐車場台数は約120台で、その内4台分を障害者優先駐車場として確保する予定である。

「大地」機械格納庫を視察



妊婦を守るため風しんの予防接種費用一部助成